



三杉会とは

昭和57年10月24日に待望の同窓会館が竣工し、建部大社の御神木である三本杉にちなんで「三杉会館」と命名された。

また、平成5年6月13日の臨時総会において、「瀬田工高同窓会」は、瀬田工業高等学校同窓会「三杉会」と改称し、会報も「三杉会会報」となった。

三杉会事務局

〒520-2132 滋賀県大津市神領三丁目18番1号
瀬田工業高等学校内
E-mail setatech-h.dousou@pref-shiga.ed.jp

瀬田工業高等学校

TEL (077) 545-2510 (学校代表)
FAX (077) 543-4872 (学校代表)

会員数 (令和6年4月現在) 24,781名

同窓会員の皆様



瀬田工業高等学校
同窓会三杉会会長
奥村 功

(昭54工電)

初夏の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は、同窓会三杉会の活動に對しまして、ご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

感染症もようやく落ち着きを見せ、世間も活気を取り戻しつつあります。感染症が発生してから丸4年間、当たり前だったことが当たり前ではなくなり、生活環境や職場環境は大きく変化しました。ある書物を読んだら、「当たり前」の定義語は「有り難きもの」と書いてありました。コロナ禍前までは、不自由なく生活できたことが当たり前でした。しかし、パンデミックが起ったからは、仕事に行けない、人に出会えない、旅行や食事に行けない、OB会や友と出会えないなど、普段できていたことができなくなりました。ある先輩の方が、「コロナ禍で家に閉じこもり、外に

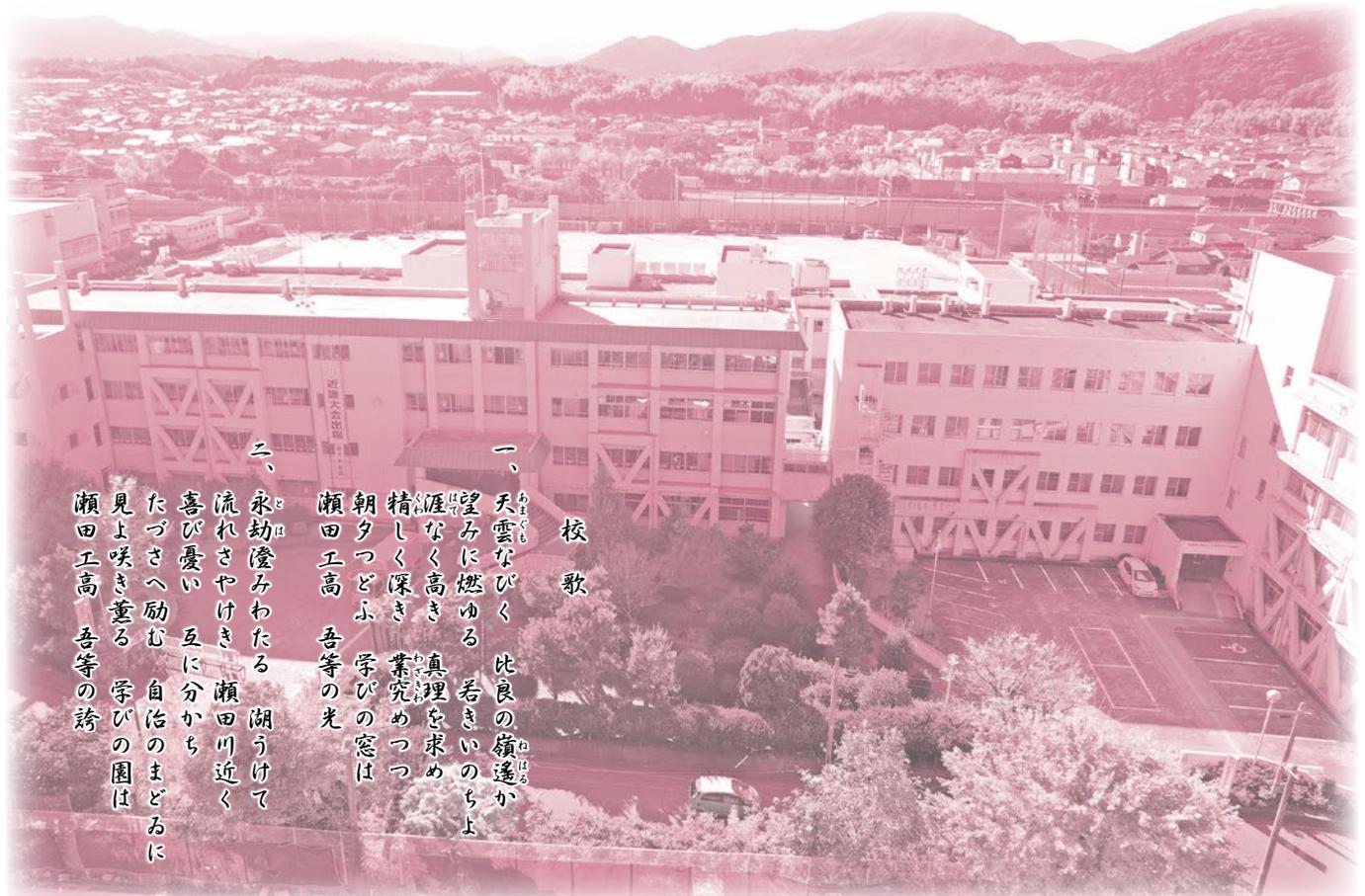
出ない。友と出会う話ができなかった。今はやっと地域の行事に参加することができ、人に出会って話をする事ができて本当に有難い」と言われたとき、「有難い」と言う言葉の深さを改めて実感しました。

今年度は将来の夢と希望に満ち溢れた全日制276名・定時制13名の新入生が母校に入学し、新たな一歩を踏み出しました。

同時に、日本のものづくりに貢献する全日制209名・定時制15名の卒業生が母校を後に旅立ちました。卒業生たちは、それぞれの目標に向かって努力を重ね、社会に貢献していくことでしょう。新入生たちは、これから様々な学びを通して、自分たちの可能性を大きく広げていくことだと思います。

昨年度は、同窓会会員名簿の発刊に際しまして、大変お世話になりましたこと、厚く御礼申し上げます。会員名簿は、懐かしい級友とのOB会、先輩後輩が集う職場会など、コミュニケーションツールとして活用していただき、会員の親睦を深めていただければ幸いです。

末筆となりますが、母校のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝ご多幸とご活躍を祈念申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



校歌

一、天雲なびく 比良の嶺遙か
望みに燃ゆる 若きいのちよ
涯なく高き 眞理を求め
精しく深き 業究めつつ
朝夕つどふ 学びの窓は
瀬田工高 吾等の光

二、永劫澄みわたる 湖うけて
流れさやけき 瀬田川近く
喜び憂い 互に分ち
たづさへ励む 自治のまどるに
見よ咲き薫る 学びの園は
瀬田工高 吾等の誇

ご挨拶



校長
横尾 浩
(昭59工電)

本校同窓会三杉会会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動ならびに同窓会活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたびは瀬田工業高等学校の校長に着任いたしました横尾浩と申します。微力ではございますが、諸先輩方が築き上げてこられた瀬田工業高等学校の伝統をしっかりと受け継ぐとともに、社会の変化に適切に対応しながら、全力で学校経営に努めていく所存でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

ご挨拶



(定時制)副校長
小梶 和久

瀬田工業高等学校同窓会三杉会の会員の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校教育活動ならびに同窓会活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。この4月より瀬田工業高等学校定時制の副校長に就任いたしました。平成8年より3年間は瀬田工業高等学校電気科で、平成11年から3年間は瀬田工業高等学校電気科に勤務しておりました。今回の副校長としての着任が私にとつての第二の母校であることに深く感謝しております。

本校の定時制課程は昭和14年に瀬田工業学

科ナ以前の状況に戻りつつあります。感染症自体は消滅したわけではありませんので、感染症対策を行いながら、それぞれの行事等を実施しております。

BYOD(個人購入)による一人一台端末が導入され、本年度で3年目になります。3学年とも導入が完了となり生徒は全員パソコンを持つていることとなります。それぞれの教科の授業等で活発な活用が見込まれています。教員側も教材の作成や利用について研修を進めているところでございます。

令和4年度から新学習指導要領が実施されています。本年度で3年目、すべての学年で新しい観点別評価が実施されております。「知識及び技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性」の三つの柱で評価され、「主体的・対話的で深い学び」の視点から授業改善が求められ、各教員がよりよい授業のため積極的に取り組んでおります。

一昨年度になりますが、本校各工業科の実習施設・設備が更新されました。それぞれの機器を動作させるための研修を重ね、実習に活用し校第二本科(夜間部)として設立され、その後第二瀬田工業学校、湖南高等学校(瀬田校舎)定時制課程、瀬田高等学校定時制課程、瀬田工業高等学校定時制、そして昭和44年に大津東工業高等学校として定時制課程が分離独立、さらに瀬田高等学校と改称され、平成26年4月の高校再編により、瀬田工業高等学校定時制として新たなステージを踏み出しました。

滋賀県内の高等学校も新たな変革期を迎え、学校の魅力向上を図るために学科改編等の取り組みが行われているところです。例えば、伊香高校では「森の研究科」、守山北高校では「みらい共創科」が創設され、地域連携や多様な学びへの取り組みが進められています。また、専門高校ではスマート専門高校として最先端の職業教育を実現し、デジタルトランスフォーメーション等に対応した地域産業界をけん引する職業人を育成するために最新の実習機器が導入されました。

教職員も働き方改革とともに校務の効率化が

ております。これらの機器をしっかりと活用しながら、社会の担い手として社会の変化に対応できる人材の育成に努力して参りたいと思っております。機会がございましたら、新しい機器をご覧いただけたらと思っております。

クラブ活動におきましても、各クラブが令和5年度に近畿大会や全国大会で入賞等好成績を収めております。今年度も各部活動において目標を設定し、目標が達成できるよう毎日積極的に部活動に取り組んでおります。全国大会や近畿大会等への出場を期待しています。一人ひとりの生徒が、それぞれ得意とする分野で活躍し、充実した高校生活を送ってほしいと願っております。

母校、瀬田工業高等学校の今後ますますの発展に向け、三杉会会員の皆様と教職員がひとつになつて邁進していきたいと思っております。引き続き、本校へのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本校同窓会三杉会のみならずの発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

推進され「校務DX」への取り組みを進めています。また、2022年末にChatGPT等生成AIが登場し、学校現場での活用も広がろうとしています。AIを活用した教材や学習支援ツールの開発により、教育の質の向上や校務の効率化が期待されますが、AIの学習している内容はすべてが正しいものばかりではありません。出力された結果の信頼性を正しく評価し判断することは依然として人間の責務です。

工業高校での学びや経験は物事を正しく評価し判断する力となり、これからの産業界での活躍につながる重要な要素になると考えます。社会全体が大きな変革時期を迎えています。諸先輩方や三杉会会員の皆様から学び、活躍されている産業界のさらなる発展に寄与するため、私も産業界活動に微力ながら尽力してまいります。

三杉会会員の皆様、今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

わたSHIGA輝く国スポ・障スポ2025開催に向けて、本校3科(機械科、電気科、化学工業科)それぞれがカウンタダウンボードを製作しました。各々はショッピングモール フォレオ大津一里山、複合商業施設 ブランチ大津京、びわ湖浜大津駅に設置されています。



ブランチ大津京 (化学工業科)



フォレオ大津一里山 (機械科)



びわ湖浜大津駅 (電気科)

支部だより

栗東支部



令和6年度

支部総会について

高田 英一（昭39全機）

令和4年度当会報にて、令和5年度に支部報告並びに令和5年度支部総会のご案内と言及しておりましたが、またもやコロナ禍の余韻の為、支部活動も4年間のブランクになってしまいました。令和6年度に入りましたが、4年間のブランクが大きく支部活動再開に向けての気運は今ひとたびですが・・・。

令和元年10月創立80周年記念を呼応して、80周年記念支部活性化懇談会の「瀬田川クルーズと母校訪問」を最後に活動を休止している中で、会員の皆様の消息等を知りたいとの声が上がりましたが、本会報にて本年度支部総会の開催の案内・詳細をする手筈には至りませんでした。会員の皆様にはご容赦ください。また、支部総会の開催の由、本会報をお借りして広報させていただきますので多くの支部会員の皆様の出席よろしくお願い申し上げます。総会の詳細が決まりましたら、支部地区長より案内を届ける手筈をとりたくておりますが、案内が届かない場合が生じる可能性がありますので、ご出席いただける意向の方は、住所・氏名・連絡先TEL、FAXを恐れ入りますが、取りまとめの先

TEL 0777-55214657
FAX 0777-55214591

携帯 090-6973-4774 (高田)

宛てご一報くださいます様、お願い申し上げます。会員の皆様の益々のご健勝を祈念申します。

上げ、令和6年度支部総会の予告案内に代えさせていただきます。

学年同窓会

昭42C同窓会を終えて

幹事一同

昭和42年化学工業科卒業の同窓会を昨年6月5日(月)～6日(火)にかけて南郷温泉二葉屋さんにて、宿泊開催しました。前回は平成29年11月で以降新型コロナウイルス感染症の為に延期になっていました。

今回は30人の参加を目標に頑張りましたが、総勢23名の参加で夕方5時よりの開宴、先ずは集合写真撮影、幹事長挨拶に始まり、本多先生も毎回元気に参加して下さり挨拶の中で「長い教員生活の中でこんなに長く同窓会に参加するのは、皆さんの会だけです。是非瀬田工三杉会会報に寄稿して下さい」という強い勧めもあり、また2～3人の同窓生より励ましのLINEも頂きました。

卒業当初は2～3年毎に開催していましたが、昭和の終わり頃から20数年空白の時期も有りましたが、平成17年頃より再び同窓会を再開し現在に至っています。

今回は、遠くは佐賀県唐津市、福岡県筑紫野市、千葉県佐倉市より駆けつけてくれました。また同窓会が初めての参加で、57年振りの方もおられ、そこは同窓生直ぐに打ち解け高校時代に逆戻り、近況報告や昔の思い出話、旧友の安否、亡くなった人の話等々、そして、「高齢者あるある」の健康問題と話が尽きることはなく、楽しい時間はあっという間に過ぎ、次回幹事も決まり二次会(カラオケタイム)へと移り、夜遅くまで語りあかしました。翌日は、近くの岩間寺に12～13人がお参りして、次回も元気に再会を約束し散会した。

と思っていました(私は、所用があり朝食をたべて失礼しました)。幹事引き継ぎ時の話題の中で岩間寺の後、7～8人で信楽方面に足を延ばし四次会をしたそうです。

この同窓会に参加して、自分たちが元気で顔を合わせて居られることに感謝し、貴重な時間を過ごせ、同窓生との絆を感じる事ができた会の思い出は、その後の日々の活力になってくれるものと確信します。なおこの会が長続きしているのは、女性陣の頑張りにより住所録が確りと管理されているのが最大の一因だと感謝しております。

今回の幹事

- 北川 保、上田宣治、吹田徳雄、
- 村井巴喜夫、井上(竹村)清子、
- 深尾(松瀬)春美、米平(川南)悦子

大西 太貴男(昭41全電)

皆さんこんにちは。
私は昭和41年電気科卒で卒業後58年、歳を重ねて70歳後半の後期高齢者となりました。別居で二人の息子と孫達が近くに居てくれて、私は家内と愛犬と共に自分達だけの住まいを構え、幸せ感溢れる老後生活を送らせて頂いています。

私はとても貧乏な家庭で育ち、高校時代は奨学金を頂きながら教科書は近所の先輩から頂戴するなど終始経済面では恵まれませんでしたが、科目ごと何人かの恩師のもとで多くを学び、気の合ったクラスメイトと共に3年間の高校生活を終えることができました。

前述から遡ること、入試は叔父が電気工事関係をやっていた関係で何となく工業高校という事で瀬田工を受験して入学、卒業後の就職先は何となく叔父のような仕事



ぐらいにしか思っていないませんでした。そしていよいよ卒業と言う時、私が大学進学したいけど経済面から叶わない点とか、就職だったら電気工事関係ぐらいいいか考えていなかった私の話をよく聞いて下さった恩師が「給料を貰いながら大学勉学の一端を提供してくれる会社があるよ」と就職先を斡旋して下さい、当時の立石電機(現在のオムロン)に入社しました。
当初会社では電気回路設計、ソフトウェア(当時はマイクロプロセッサ)設計を経験、最後には管理者の経験をさせて頂き、とても楽しくそして有意義な会社生活を過ごして無事に定年退職となりました。
そして会社卒業後は冒頭の今の状況にある訳ですが、それには瀬田工当時の担任恩師の親身な進路指導があったからこそつくづく思い返し、今は亡き恩師に感謝をしている次第です。

北海道日本ハムファイターズ入団

平田 大樹



硬式野球部 監督 小椋 和也
(平12工電)

【6月】

5月下旬、エースの吉田翔湧(花園大)の球速が140km/h以上を超えはじめた。私は、一度見てほしいと繋がっていた12球団のスカウトに連絡した。6月10日(土)、読売ジャイアンツが本校で和歌山の神島高校との練習試合の視察に訪れた。吉田は緊張で、硬くなっていた。しかしながら、当日も141km/hマークし、いいものを持っている、球速150km/hを超える素材だと評価していた。当日、私はもしかすると平田も可能性があるのじゃないかと感じ、試合前に平田を呼んで話をしていた。「今日はスカウトが吉田を見に来る。お前は、全打席、ホームランを狙え。塁に出たら、単独で2盗、3盗とどんどんスタートしろ。好きにやれ。」と話を

していた。その日の平田は、安打2本、2塁打1本、2塁盗塁3つ、3塁盗塁1つと絶好調だった。私は、5回のグラウンド整備中にスカウトと話していた。この日は、滋賀県担当スカウトと西日本チーフスカウトの2名が来られていて、平田の走塁と打席に入った時の雰囲気に興味を示した。「あのセンターは？盗塁のうまさ、走塁の感覚、打席の雰囲気でも何かもっているものがある。名前は？身長、

体重は？」と次々と平田の特徴を聞いて、メモをしていた。6回以降は、吉田、平田と様々な角度から動画を撮っていった。それから西武ライオンズ、オリックスバファローズ、北海道日本ハムファイターズ、ソフトバンクホークス、横浜ベイスターズ、阪神タイガースと平日練習と土日の試合の視察に訪れ、吉田と平田の2人は練習により熱が入っていた。視察では、プレーだけでなく、2人の練習している様子や試合中のベンチ内の様子、どういった声を出しているかなどをチェックする様子があった。やはりプレーだけでなく、それ以外の振る舞いも大切なのだと改めて思った。他の球団については、夏の予選で視察しますとのことだった。6月に入ってから、吉田の調子

も上がり、平田は毎試合ホームランを放ち、守備でも外野からのバツクホームでアウトにするなど、攻守に渡ってアピールしていた。各球団は、「次は上司を連れてくる。2人の一番いい状態の時に連絡が欲しい。平田については、支配下指名でも押していく。」と伝えられていた。

【10月8日(日)】

北海道日本ハムファイターズは、育成指名も可能な選手を集めて、トライアウトを開く。そこに平田を参加させてほしいと連絡があった。しかしながら、夏の大会が終わり、実践から離れていた平田は、少し不安に思っていた。トライアウトに来る選手たちは、150km/h以上投げる投手がゴロゴロいて、野手もドラフト候補選手ばかり、投手の球速や打球スピードに対応できるのかと心配していた。当日の私は、いなべ総合学園に練習試合に行っており、平田と保護者だけでトライアウトに行ってもらうことにした。たまたまトライアウトの会場には、知り合いのトレーナーや青森大の三浦監督もいて、平田の様子を連絡してもらっていた。「野手の中では、一番目立っている。いい感じだと思う」と連絡が来ていた。独立リーグから来ている投手陣



は150km/hを超えるストレート、キレのある変化球を投げ分ける。平田は、そんな投手からも少しづつ対応するようになり、最後は打ち返していた。そんな対応力も評価され、滋賀県に戻ってきた。

その夜、担当スカウトから連絡があり、「いいアピールができた。好投手からも少しづつ対応していた。球場内の球団関係者は、どのスカウトがああ選手を見つけてきたのかと周囲がざわついていた。」と朗報の連絡であった。

〔10月26日(木)ドラフト会議当日〕

三杉会館2階の小部屋で獅子堂秀雄校長とネット放送の中継を見ていた。オリックスバファローズやソフト

バンクホークスからは、支配下指名も可能性があると聞いていた。しかし、名前を呼ばれることはなく、育成ドラフトへ移った。育成ドラフトの一巡目が終わり、育成ドラフト二巡目に入った。オリックスバファローズ、ソフトバンクホークス、西武ライオンズ、読売ジャイアンツと指名の可能性のある球団は、別の選手を指名していった。私は、3年前の小辻鷹仁(創価大学)のドラフト漏れを思い出し、今回のドラフトもダメかと肩を落とし、目を閉じてうつつむいた。次の瞬間、

「北海道日本ハムファイターズ 平田大樹 瀬田工業高校 外野手」と確かに耳に入ってきた。スマホの画面を見ると確かに平田大樹の名前が記載されていた。私は自身のアドレナリンがあふれ出したことを自覚し、興奮する気持ちを抑え冷静な態度を装って、別室で待機していた平田のところへ向かった。平田は、長時間待たされて疲れていたのか、背を向けて横になっていた。「平田、呼ばれたぞ！日ハム育成2位！今から写真撮影に行くぞ。その後、記者会見や。」と声をかけた。平田は、きょんとし、私がいうことに「ハイ。」と返事を返すだけだった。

生徒がグラウンドで平田の登場を待ち、そこへ平田と私は向かっていった。平田は、みんなに担がれ、報道関係者たちからまぶしいほどの写真を撮られていた。写真撮影が終わり、記者会見場へ向かった。平田は、「監督、日ハム、育成2位ですか？」と再確認してきた。「うん、おめでとう。」と返した。記者会見が始まった。校長、平田、私の順番で席に着き、質問が始まった。内容はあまり覚えていないが、平田がこんなこと言うのかと驚いたフレーズが今でも頭に残っている。

平田はこう答えた。「滋賀県は琵琶湖ではなく、平田と言われる選手になりたい。」と答えた。口数の少ない、寡黙な平田がまさかこんなことを言うとは・・・。

〔吉田〕

記者会見も終わり、育成ドラフトも同時に終了した。私は、吉田のところへ向かった。「吉田、花園大学で全国優勝、4年後のドラフトを目指そう。お前には、感謝している。ありがとう。」と伝えた。昨年、31年ぶりの近畿大会出場を果たしたが、吉田がいたから出場できたといっても過言ではない。そんな吉田は、平田のところへ行きたいと言った。吉田は、「大樹、おめでとう。」と握手をした。平田は、「お前のおかげ。ありがとう。」と抱き合った。2人は、記者会見のバックパネルの前で2人は写真撮った。吉田は、「俺がプロに行くまで、頑張って待っていてほしい。」そんな言葉を残し、帰っていった。花園大学は、吉田のドラフト待ちを可能とし、指名漏れをした場合は花園大学進学となっていた。花園大学は、近年力をつけており、全国優勝を狙ってチームづくりをしている。



記者から最後に一言ファンの皆様にお願いますという質問がきます。

吉田は、他大学からの話もあったが、京滋リーグを代表としている滋



は、「吉田は、大学でがんばらせてほしい。吉田は焦ったらあかん。4年間大学野球を経験してからの方がええ。」と多くの球団は、吉田を高い評価をするとともに、吉田のプ口入りまで成長過程を考えていただいていた。

【7月8日入寮】

1月7日の夕方、平田がグラウンドへ訪れた。「監督、明日から入寮します。合同自主トレが始まります。」とあいさつに来てくれた。「これからやな。合同自主トレでとぼしすぎるな。キャンプ前に怪我したらあかんからな。チャンスは必ず来るから、頑張れよ。」と伝え、平田と握手をした。私は、一日でも早く一軍に上がり、エスコンフィールドで活躍することを願い彼を見送った。

【感謝】

平田大樹を支え続け、日頃のチーム運営に力を注いでいるチームスタッフ、チームメイトや教え子たち、

ドラフト記者会見場の準備を手伝っていただきました旧職員の方、本校非常勤講師の中谷研太様、いつも応援してくださる本校の職員、前職員の皆様、瀬田工野球部の活動にご理解とご協力をいただいている保護者の皆様、いつも気にかけてくださっているOBの皆様、各球場のスタッフの皆様、滋賀県高校野球連盟関係者の皆様、県内外の高校野球指導者の方々、中学校クラブチームの指導者の方々、中学校の先生方、大学・社会人野球関係者の皆様、多くの方々との出会いがあり、平田大樹との出会いがあり、多くの方々の支えのおかげでここまでやってこることができました。本当にありがとうございました。

平田大樹を支え続け、日頃のチーム運営に力を注いでいるチームスタッフ、チームメイトや教え子たち、

拙い文章を最後まで読んでくださり、ありがとうございました。



賀県出身の好投手が2名在籍、野陣も強豪校から集め、新入生も140km/h後半を投げる投手陣が集まっている。そこで結果を出せば、全国制覇ドラフト指名は十分にありえると考え、花園大学進学を決定した。

ドラフトの翌日、スカウト陣から



令和5年度 各種資格取得者数一覧

Table with columns for qualification names (e.g., 危険物取扱者甲種, シルバー) and counts for '受験者数' (Candidates) and '合格者数' (Passes).

令和5年度受賞者

〈教育団体表彰〉

Table listing award recipients by organization (e.g., 産業教育振興会中央会表彰) and category (e.g., 電気科A組).

〈全国工業高等学校長協会ジュニアマイスター顕彰〉

Table listing special awards (特別表彰) and medals (Gold, Silver) for students.

Table listing award recipients by category (e.g., シルバー, ブロンズ) and group (e.g., 電気科B組).

〈消防試験研究センター滋賀県支部長表彰〉

Table listing award recipients for fire safety training center.

〈三杉会表彰〉

Table listing award recipients for the Sanjima Club.

令和5年度 I.進路状況 (県内・県外は就業場所による集計)

[単位:人、():女子内数]

Table showing career status (就職) and university entry (進学) by department (e.g., 機械, 電気).

就職内定率 (内定者数/学校紹介就職希望者数)=116/116=100%

II.求人状況 (県内・県外は事業所所在地による集計)

Table showing job openings (求人) by region (県内, 県外).

求人倍率 (求人数/学校紹介就職希望者数)=991/116=8.54倍

2023年度部活動結果報告

ボート部

Table for Boating Club results at various events.

水泳部

Table for Swimming Club results.

弓道部

Table for Archery Club results.

自転車競技部

Table for Cycling Club results in various categories.

バレーボール部

Table for Volleyball Club results.

陸上部

Table for Track and Field Club results.

ソフトテニス部

Table for Soft Tennis Club results.

定時制バドミントン

Table for Part-time Badminton Club results.

定時制野球交流試合

Table for Part-time Baseball Exchange Match results.

化学科

Table for Chemistry Department results.

電気科

Table for Electrical Engineering Department results.

省燃費カーレース

Table for Fuel Efficiency Car Race results.

美術部

Table for Art Club results.

2024年度 三杉会役員・顧問・事務局

令和 6 年 4 月現在

Table listing board members, advisors, and staff with their names and positions.

令和5年度事業報告

Report of activities for the 5th year of Reiwa, including dates and descriptions of events.

令和 6 年度事業計画 (案)

Proposed activities for the 6th year of Reiwa, including dates and descriptions of events.

令和 5 年度通常会計決算書

Financial statement for the 5th year of Reiwa, showing income and expenses.

令和 6 年度通常会計予算 (案)

Proposed financial statement for the 6th year of Reiwa, showing income and expenses.

令和 5 年度積立会計決算書

Financial statement for the 5th year of Reiwa regarding the reserve fund.

令和 6 年度積立会計予算 (案)

Proposed financial statement for the 6th year of Reiwa regarding the reserve fund.

監査報告

瀬田工業高等学校同窓会「三杉会」令和5年度通常会計ならびに各種会計について、令和6年3月30日に三杉会館において会計簿ならびに関係書類の提出を求め、監査を行った結果いずれも正確かつ適正に処理されていたことを認めます。

令和 6 年 3 月 30 日 監事 田井中 勲 監事 島田 潤一

事務局からお願い 平素は、同窓会三杉会の活動にご理解ご協力いただき、また、ご支援を賜り心からお礼申し上げます。事務局への連絡等には、郵便、またはメールでお願いいたします。